

AMD Aとインドの医大、協定へ

スマトラ沖大地震の被災地に医師を派遣している国際医療NGO「AMD A」(本部・岡山市)が世界各地で展開する医療支援活動に、インドの医科大学のスタッフが協力して参加することになった。支援活動で訪れていたインドから帰国した菅波茂AMD A理事長が、3月までに大学と協力協定を結ぶことを明らかにした。

菅波理事長によると、協定を結ぶのはインド南部の小都市マンガロール近くのカスツルバ医科大学。AMD Aインド支部長が同大学の教授であることから、現在、AMD

Aのインド・タミルナド州での津波被害に対する支援活動に、同大学のスタッフ6人が派遣されている。

菅波理事長は今月上旬、同大学を訪問。学長らと会い、今後、インドだけではなくAMD Aが世界で展開する医療支援活動に、同大学のスタッフや卒業生の医師らにも

参加してもらえよう、協定文書を交わすことで合意した。これにより、インドや中近東での活動が迅速になるといっ。

AMD Aは支援活動の募金を呼びかけている。
 □座名「AMD A」、郵便振替01250・2



被災地どこでも診療所

大地震など自然災害の被災地に設置される仮設診療所のモデルハウスⅡが11日、岡山県哲多町田淵の研修施設、国際貢献大学校に「モデルハウス」

校跡を利用して同町が設置し、01年9月に開校。岡山市の国際医療NGO「AMD A」のアムタ国際福祉事業団が運営し、途上国の開発援助や災害救助の専門要員、ボランティアを養成している。

仮設診療所は床面積約29平方メートル。同校の研修生らが被災地での応急救護のノウハウを学ぶ教室として活用する。

国際貢献大学校に「モデルハウス」

菅波茂AMD A理事長

菅波茂AMD A理事長

菅波茂AMD A理事長

菅波茂AMD A理事長

同大学校は小学校の廃

40709。通信欄に「環インド洋地震・津波」と記載する。